

取扱説明書

ワイヤレスラウンドスピーカー

型番：ASP-W125N-W 品番：03-2386
ASP-W125N-K 03-2387

このたびは、AudioComm®ワイヤレスラウンドスピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

②

【使い始める前に】 本製品には以下のものが含まれています。お使いの前に、必ず内容をお確かめください。

- スピーカー本体 ●専用充電コード ●保証書 ●取扱説明書(本書)

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

充電式電池について

絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。

- 充電式電池(リチウムポリマー電池)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

主な仕様

電源	DC5V 300mA(USB-C給電)
内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池(3.7V 800mAh)
実用最大出力	3W
再生周波数帯域	150Hz～17kHz
スピーカー	口径52mm(4Ω)フルレンジ×1、パッシブラジエーター×1
SN比	≥80dB
接続端子	外部音声入力(Φ3.5mmステレオミニジャック)
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.3(TWS機能搭載)
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
変調方式/周波数帯域	GFSK / 2,402～2,480GHz
最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
充電時間	約3.5時間(残量ゼロからフル充電まで)
連続再生可能時間	約14時間(50%音量)
許容動作温度/湿度	温度：0～40°C 湿度：20～80%(結露なしにて)
外形寸法	幅75×高さ91×奥行75.5mm(ハンドル・突起物を除く)
質量	約258g
付属品	専用充電コード、保証書、取扱説明書

*最大通信距離、充電時間、連続再生可能時間は目安であり、使用状況によって異なります。また、充電時間は充電器の容量によって充電時間が長くなる(もしくは短くなる)場合があります。

*仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

*Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、当社はライセンスにもとづいています。

*記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

*本書で使用している図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。

お手入れのしかた

※必ず電源を切ってから行なってください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、
アルコールは
使用しないでください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



禁止

- 充電式電池(リチウムポリマー電池)が液もれたときは、素手で触らない
- 本製品には充電式電池が内蔵されています。万一、液もれているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗いただちに医師の診察を受けてください。失明の原因になるおそれがあります。
- 液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



22cm以上離す

心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは
装着部位から22cm以上離す



接触禁止

雷が鳴り始めたら、安全のため、本機及び充電コードに触れない



使用禁止

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、
すぐに使用を中止する



分解禁止

分解、修理、改造しない

自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。
また絶対に放置しない


●高温になると、危険を防止するため充電式電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。



本機や充電コードの上に重いものをのせない



●破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因になります。



充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、
ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない



●コードが破損して火災・感電の原因になります。



航空機内や医療機器の近くで使わない



●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。



付属の充電コード以外では充電しない



●火災や感電、機器の故障の原因になります。



火の中に入れない



●本製品には充電式電池が内蔵されており、誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因になります。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えることがあります。



小さなお子様の手の届かないところに保管する



●思ひぬ事故を招くことがあります。



長時間、大音量で聴き続けない



●聴覚障害などの原因になることがあります。



ぬれた手で操作しない



●故障や感電の原因になることがあります。



浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない



●感電や故障の原因になります。



暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のある場所に置かない

●破損・故障の原因になります。

振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない

●落してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因になります。

充電コードを熱器具に近づけない

●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因になります。

△ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えることがあります。



禁止

キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない

●内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。

ほこりの多い場所に置かない

●火災・感電の原因になることがあります。

シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない

●変形・変色の原因になります。

自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない

●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。

充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない

●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

●必ずプラグ部を持って抜いてください。

日本国外では使用しない

●本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。

●国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

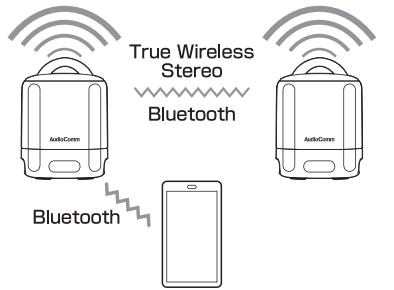
TWS(True Wireless Stereo)機能について

2つのスピーカーをBluetoothによりペアリングすることで、左右独立したステレオサウンドを実現する機能です。本機はこの機能に対応しています。ただし、TWS機能を使うには、本機を2台用意していただく必要があります。

- 本機を単独でBluetooth接続した場合、音声はミックス出力(モノラル)となります。



●TWS(True Wireless Stereo)機能を使うと、左右のチャンネルを各スピーカーに割り当て、広がりあるステレオサウンドを楽しむことができます。



保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついており、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

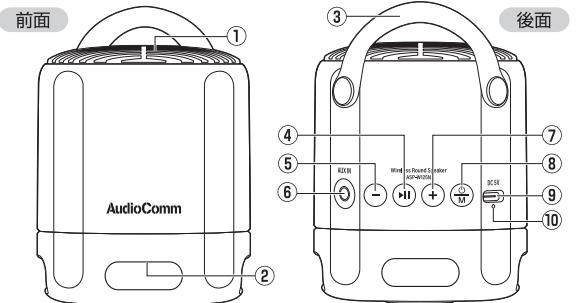
アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

故障かなと思ったら

- 充電できない**
 - 充電コードを使って、本機とパソコンのUSBポート、USB-AC電源アダプターなどが正しく接続されているか。
 - 付属品ではない充電コードを使用していないか。
 - 電

各部の名称

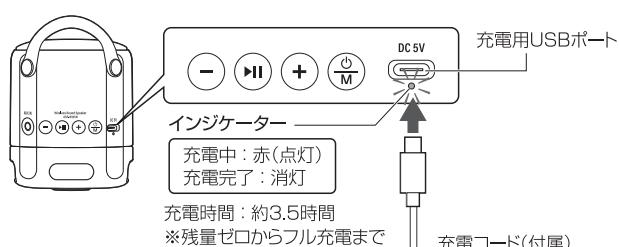


- ①スピーカー
- ②パッシブラジエーター
- ③ハンドル
- ④再生／一時停止ボタン
- ⑤音量／スキップボタン(−)
- ⑥AUX IN端子(外部音声入力)
- ⑦音量／スキップボタン(+)
- ⑧電源／ファンクション切換ボタン
- ⑨充電用USBポート
- ⑩インジケーター

充電のしかた

付属の充電コードを使って、本機の充電用USBポートとパソコンのUSBポートなどを接続します。

●充電が始まると、インジケーター(赤)が点灯し、完了すると消灯します。



- ・パソコンのUSBポート
- ・モバイルチャージャー
- ・USB-AC電源アダプター(DC5V 1A)など

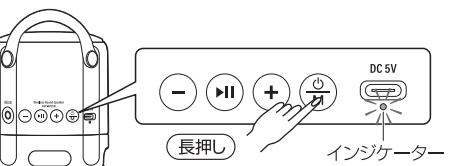
ポイント

- 必ず付属の充電コードを使う。また、付属の充電コードを他の製品に使わない。
- 電源供給ができるUSBポートに直接接続する(USBハブなどを介さず)と正常に充電されません。
- 家庭用コンセントで充電するときはUSB-AC電源アダプター(別売)を使う。

ご注意

- 許容動作環境(温度: 0°C~40°C、湿度: 20~80%、結露なし)を超えた環境下で充電した場合、充電が完了していないくとも、途中で終了することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。
- 使用中に電池残量が少なくなると、「Low power」の音声が間隔を置いて流れます。そのまましばらくすると電源が切れますので早めに充電してください。

電源のオン／オフ



電源オン

- 電源／ファンクション切換ボタンを約3秒間長押しすると、電源が入ります。
- 「Power on」→「Bluetooth mode」の音声が流れ、インジケーター(青)が点滅します。
- はじめて使うときは、ペアリングが必要です。「ペアリング(初期登録)のしかた」を参照して操作してください。

電源オフ

- 電源が入っているときに、電源／ファンクション切換ボタンを約3秒間長押しすると、電源が切れます。
- 「Power off」の音声が流れ、インジケーターが消灯します。

ペアリング(初期登録)のしかた

はじめての機器とBluetooth接続するときは、必ずペアリング(本機と相手側機器を相互に初期登録する操作)をしてください。

- 相手側機器(スマートフォンなどのBluetooth機器)の電源が入っている状態で、本機と約1m以内に近づけてください。
- AUX IN端子にプラグが差込まれているときは、抜いてください。
- 本機がすでに別の機器とBluetooth接続していたり、相手側機器が他の機器と接続中は、本機とのペアリングはできません。その場合は、本機及び相手側機器の既存の接続を解除したうえで、ペアリングしてください。

1 本機の電源を入れます。

- 「Power on」→「Bluetooth mode」の音声が流れ、インジケーター(青)が点滅して、サーチモード(接続可能な機器を探している状態)になります。

2 相手側機器で本機を登録します。

- Bluetooth設定画面を開く
iPhone: [設定]→[Bluetooth]
Android: [設定]→[Bluetooth]
[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

上記は参考例です。各機器付属の取扱説明書を参照して、Bluetooth機器の検索・登録画面へ進んでください。

本機を登録する

Bluetooth設定画面で本機の名称「ASP-W125N」が表示されたら、それを選択します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※機器によってはご自身で設定したパスワードが必要な場合があります。

本機との接続が完了すると…

「Connected」の音声が流れ、本機を使用できる状態になります(インジケーターが点滅から点灯に変わります)。必要に応じて、相手側機器で再生などの操作をしてください。機器によっては本機の再生／一時停止ボタンを押すと、再生を始められる場合もあります。

ご注意

- 本機はBluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル: A2DP, AVRCP)に対応しています。相手側機器によりプロファイルの選択が必要な場合は、それらのうちのいずれかを選択してください。その他のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- サーチモードが約5分間続くと、ペアリングがキャンセルされ、電源が切れます。必要に応じて最初からやり直してください。
- 最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth接続も可能な状態のときは、本機の電源を入れると自動的に接続します(AUX IN接続時を除く)。ただし、機種によってその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書などを参照し、本機との接続を確立してください。
- 使用中に接続が途切れたり、正常に動作しなくなったときは、相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れていないか、本機または相手側機器の電池残量が減少していないかを確認してください。その後、本機及び相手側機器の電源を入れ直して、正常に戻るか確認してください。それでも改善されない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。

ボタン操作

Bluetoothで接続しているときの各ボタンの機能は、以下のとおりです。ただし、接続する機器や再生アプリなどにより、動作が異なっていたり、操作できない場合があります。

ボタン	短く押す	長押し
電源／ファンクション切換ボタン	BluetoothとAUX INを切り換える	電源を切る
- 音量／スキップボタン(-)	音量を下げる	曲の先頭に戻って再生。続けて長押しすると、1つ前の曲を再生
再生／一時停止ボタン	再生⇒一時停止	—
+ 音量／スキップボタン(+)	音量を上げる	次の曲を再生

ヒントとご注意

- 再生中はインジケーター(青)が点滅し、一時停止中は点灯に変わります(点灯に変わるまで時間がかかることがあります)。
- 一時停止中にスキップ操作をしたときは、再生／一時停止ボタンを押すと再生が始まります。
- 音量が最大または最小になると電子音が鳴ります。
- 周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を与えるおそれがありますので、大きな音量で聞き続けないでください。また、大音量で使い続けると、本機の寿命が短くなります。
- Bluetooth接続中は、再生していない状態が続いている場合、本機の電源は自動で切れません。使い終わったら、必ず本機の電源を切ってください。
- 本機にはスマートフォンの電話着信に対応した通話機能はありません。音楽再生中に着信があると再生が中断しますので、スマートフォン側で電話に出るなどの操作をしてください。通話を切ると再生を再開します。

TWS機能を使うときのペアリング方法

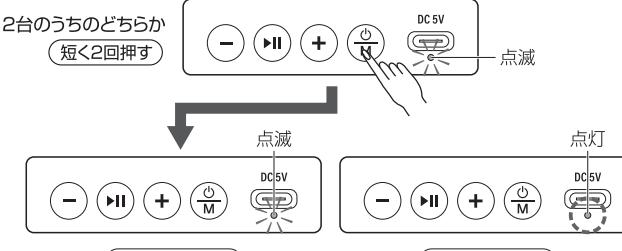
- TWS機能を使うには、本機を2台ご用意ください。
- すでに任意の相手側機器とペアリング済みの場合、TWSのペアリング(スピーカー間のペアリング)ができないことがあります。その場合は、事前に相手側機器で本機の登録を削除してください。

1 2台とも電源を入れます。

- 「Power on」→「Bluetooth mode」の音声が流れ、インジケーター(青)が点滅します(サーチモード)。

2 2台のうち、片方の電源／ファンクション切換ボタンを短く2回続けて押します。

- 「Pairing」→「TWS connection」→「Left channel」、「Right channel」と音声が流れ、スピーカー同士が接続されます。
- このとき、電源／ファンクション切換ボタンを押したスピーカーは、左スピーカー(親機)としてインジケーター(青)の点滅が続き、もう一方は右スピーカー(子機)として、インジケーター(青)の点滅が点灯に変わります。



3 「ペアリング(初期登録)のしかた」のステップ②の手順で、相手側機器とペアリングします。

- 2回目以降は、それぞれのスピーカーの電源を入れてしばらくすると、自動でTWS接続されます。

ヒントとご注意

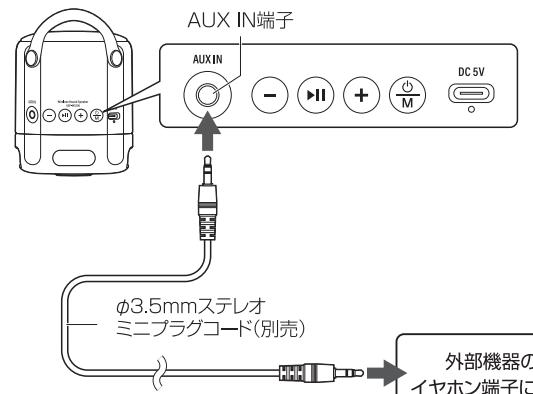
- TWS接続中は、左右どちらのスピーカーでも、再生⇒一時停止操作と音量調節が可能です。また、片方のスピーカーの電源を切ると、もう一方の電源も切れます。
- TWS機能を使った後、1台だけで使用するときは、本機の電源を入れただけでは、自動接続されない場合があります。そのときは相手側機器で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。

AUX IN端子を使う

Bluetoothに対応していない外部機器(ポータブルCDプレーヤーなど)は、Φ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)を使って本機と接続することにより、音楽を楽しむことができます。音声はミックス出力(モノラル)です。

※TWS機能との併用はできません。

- 1 電源が切れた状態で本機と外部機器を接続します。
●下図を参照して正しく接続してください。



2 本機と外部機器の電源を入れ、外部機器側で再生などの操作をします(インジケーターがゆっくり点滅します)。

- 電源を入れると、「Line in」の音声が流れ、自動的にAUX INモードに切り換わります。
- AUX INモード時のボタン機能は、以下のとおりです。ただし、接続する機器により動作が異なっていたり、操作できない場合があります。

ボタン	短く押す	長押し
電源／ファンクション切換ボタン	BluetoothとAUX INを切り換える	電源を切る
- 音量／スキップボタン(-)	—	音量を下げる
再生／一時停止ボタン	音声出力⇒消音	—
+ 音量／スキップボタン(+)	—	音量を上げる

ヒントとご注意

- 本機から音が出ないときは、Bluetoothモードになっていることが考えられます。電源／ファンクション切換ボタンを押してファンクションを切り換えてください。
- 音声出力時はインジケーターがゆっくり点滅し、消音中は少し速く点滅します。
- 音量調節は、本機と外部機器のどちらでも可能ですが、本機の音量設定を大きく超えると、Bluetoothモードにしたとき、思わぬ大音量になるおそれがあります。バランスを見ながら調節してください。

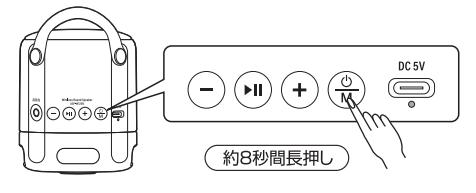
リセットのしかた

本機の調子が良くないときは、以下の手順で工場出荷時の状態に戻すことができます。リセットすると、スマートフォンなどとのペアリング情報やTWSの設定がすべて削除されます。

1 電源を入れます。

2 電源／ファンクション切換ボタンを、約8秒間長押しします。

- 長押しの間に、「Power off」の音声が流れていったん電源が切れ、しばらくすると電源が入ります。「Power on」→「Bluetooth mode」の音声が流れたら、指を離してください(リセット完了)。リセット完了時はインジケーター(青)がしばらくく3回点滅します。



3 「ペアリング(初期登録)のしかた」を参照し、必要に応じてペアリングし直します。